

もみじ福祉会 ニュース

がんばるうや

2004年7月 第38号

発行/社会福祉法人

もみじ福祉会



第一もみじ作業所(知的) 第二もみじ作業所(身障)
グループホーム つばさ/たんぼぼ/夢トピア
身体障害者福祉ホーム 夢トピア
もみじヘルパーステーション 夢トピア
障害者生活支援センター めーぶる

〒730-0823 広島市中区吉島西2-1-24
TEL:082-243-0331 FAX:082-243-0497
HP:fukushi-momiji.or.jp

もみじ福祉会の目指すもの(骨子)

私たちは、障害者も含めた地域で生活するすべての人たちが、文化的で平和な環境の下、自らの心と身体、そして人生の主人公として暮らせるための総合的な権利保障を目指し、以下の事に取り組みます。

1. 仲間(利用者)の生きる力の充実と生活の質の向上を目指します。
2. 地域の生活と福祉の向上への貢献を目指します。
3. 事業の民主的な運営と地域の諸団体との協力・共同を大切にします。
4. これらの実践の要となる、職員の、障害や発達保障、福祉や障害者運動についての専門性の向上につとめます。



台唱構成第2場面「夢トピア」を唱う (指揮)新江義雄

第7回 ともだちコンサート

目指すは自由と自立

6月6日(日)13時半、厚生年金会館の大ホール入り口にはビッグアーチストのシヨールと勘違いするほどの長蛇のお客様。身障ホーム・グループホーム・地域交流スペース合築施設「夢トピア」の完成を記念して6年ぶりに開催された「第7回ともだちコンサート」です。久々に、障害者自身による手づくりコンサートの幕開けでした。1800名に及ぶ観客に囲まれて「自由と自立への夢」を力いっぱい訴えました。



新名物 勇壮な「もみじ100人太鼓」曲はオリジナルの「もみじ舞太鼓」です

第1部 たたく 唱う

オープニングはもみじ作業所の仲間・職員を主とする130人の打ち手と50基の太鼓による「もみじ舞太鼓」。今福優さん作曲・指導により、喜びがはねるような舞台となりました。続くは、この度も、多くの友情出演のステージ。和太鼓グループの慈音、国鉄広島ナツパズ、生協ひろしま虹のコーラス、広島合唱団、そしてプロ和太鼓奏者の今福優さん。

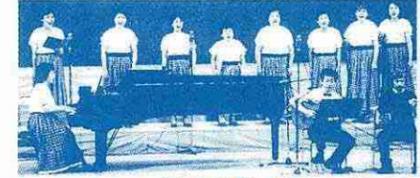
第1回ともコンから長年おつきあい頂いているの歌声の皆さんの力強くまた優しい響き、そして勇壮な太鼓の響きで盛り上げて頂いた慈音や今福優さんありがとうございます。



「慈音」と「職員有志」による「豊年こいこい節」となりました。



おなじみの「ナッパーズ」のたくましさ



「生協ひろしま虹のコーラス」の優しい歌声



「広島合唱団」心にひびきました。



「今福優さん」と「慈音」の共演 若見太鼓の技・心。曲は「大地の詩」

第2部 詩うつながる

メインの合唱構成「もっと広がれ!仲間のねがい」は、オリジナル曲9曲で構成され、仲間・保護者・職員、友情出演の歌手サークルの皆さんなどで組まれた260名余の「ともコン合唱団」で歌いあげました。

はたらく



欠かせません「ガミさん」のシングアウト



「夢トピア」の楽しい生活「黒豆ココアをどうぞ」

「自立したい。させたい」という願いは身障ホームとグループホーム建設を目指します。重い障害をもつ仲間たちの詩に初めて職員集団が曲をつけた「幸せってなんだろう」。仲間自身による街頭カンパ活動、そこで歌った「チャレンジ」。



舞台上で「缶つぶし」を熟演?!

「くらすい」

第11回 来てね!

もみじ作業所 夏まつり

7月31日(土) 15:00~

- 楽しいステージ
- 神楽
- おいしい出店
- 遊びのコーナー
- 激安バザー



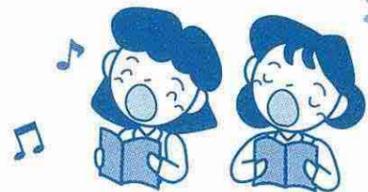
「ともコバンド」の楽しい面々

もみじの仲間ともみじ福祉会の夢・ねがいはまだまだ「もっと高く」続きます。地域とつながって3つめの作業所づくり、4つめのグループホームづくり、そしてめざせ給料5万円、の3・4・5作戦の始まりです。「もみじ浪漫行進曲」の通り、もみじの仕事は「人づくり」「夢づくり」「まちづくり」「仲間づくり」なのです。

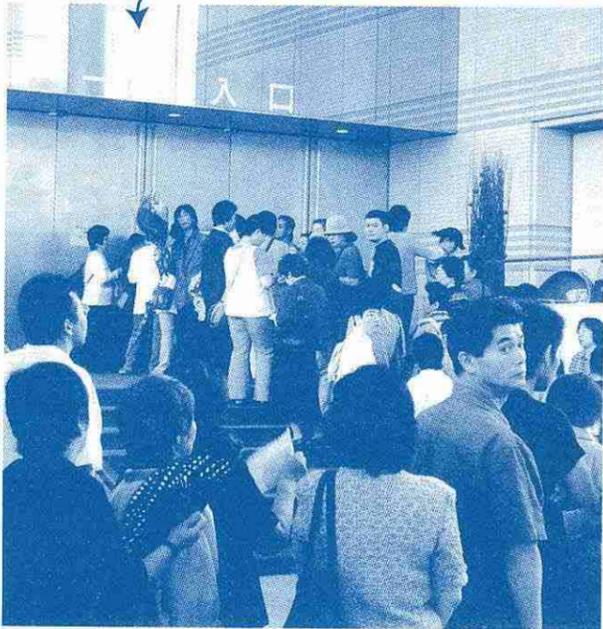
そして、ついに複合施設「夢トピア」が完成。夢トピアでの自立生活開始をコミカルに歌った「携帯電話とミニキッチン」。また、車イスの仲間・母親の詩は、夢トピアのもつ意味と期待を刻みました。

つながる

ともだちコンサートを 終えて...



開場前には長〜い列が



何十回も重ねた練習の1コマ

ともだちコンサートが終わり、会場
いっぱいにあふれたお客様とともに生
まれたエネルギーに、今もわくわくし
ます。もみじができたとき、法人化に
なったとき、そして夢トピアができた
こと、ひとりの親として、涙でした。
司会も笠間プロにめぐまれ、演出の

ともコンは本当にお疲れ様で
した。練習はちよっぴり大変だ
ったけど、みんなが「いいステ
ージだったね。パワーをもらっ
たよ!」と言ってくれたので、
疲れなんか吹っ飛びました。た
くさんの方々のご協力のおかげ
で、いいコンサートができたこ
とを感謝しています。すてきな
歌もいっぱい生まれ、またもみ
じの財産が増えました。
これからも新たな夢に向かって
てみんながんばっていきます
ので、応援してください。よろ
しくお願ひします。

橋本幸子
(ひまわり会 会長)



ともだちコンサートを
支えて下さった
多くのおみなさん、
本当に
ありがとうございました。

♪お客様の感想♪

(アンケートより抜粋)

- 勇気をもらいました。心が輝いてい
る姿を見た。
- 仲間の明るいところや元気なところ
がとても表情よく表現できていて楽
しかった。
- 涙が出るほど感動しました。
- 悲しい事件が毎日のように起こって
いて暗い気持ちになっていましたが、
元気づけられました。
- 生命の力強さ・命の大切さを感じま
した。
- よくここまで・感動
- どれもこれも良かったですよ。心に
しみて涙が出ました。元気をもらっ
て帰ります。
- もみじの種がこのヒロシマの地に根
を張り大きく育って、次の種をまた
生み出している姿に感動しました。

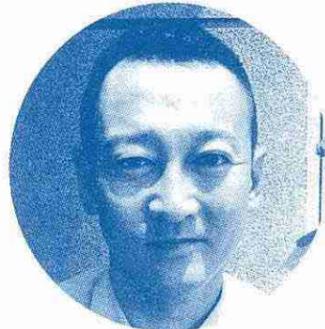


応援団

がんばろうやから

チャレンジへ

もみじ福祉会 後援会会長 向基 教幸 さん



長でしたが、なかまや職員・保
護者や関係者の皆さんに支えら
れて何とか乗り切る事ができ大
成功に終わったこと、本当に有
難うございました。この場を借
りまして御礼申し上げます。

『がんばろうや』、この言葉を
よく耳にしはじめたのは20年前
ころだったか、高校生の制服が
似合いはじめた僕が、無認可の
もみじに来はじめたところからで
す。僕の青春時代の1部がもみ
じだった気がします。いつも『が
んばろうや』という言葉で乗り
切ってきた気がします。

もみじにいると、何か日頃と
違う大きな力が沸いてくるよう
な、また、なかまといるといつ
も笑顔がたえず、のんびりした
自分がいるように思います。
さて、もみじの大イベントで
ある『ともだちコンサート』で
は実行委員長をさせて頂いただ
けではありません。なにもしない実行委員

このころはもみじ作業所も大
きくなって、なかまの顔と名前
が一致せず、もみじへ行っても
大変です。職員さえも判らない
ありさまです。でも一人一人活
き生きとしています。(あえて
生き・生きの言葉に変えました)
少ない給料で、夏まつりでピ
ールをおごってもらったり、街
頭カンパの時横にきて僕の顔ば
かりみたり、少しずつですが、
みんなの中に入って、パワーを
もらえるようになったと思いま
す。会社で嫌な事があったとき
などは、♪もみじの仕事は♪
と心の中で歌って歯をくいしば
って頑張れるようになり、有意
義な日を送れます。

誰かがこう言ったのを思い出
しました。「あそこに行けばパ
ワーをもらえる」と。
僕の嫌いな言葉のなかで1番
は「がんばれ」です。他人事みた
いにいわれるからです。逆に好
きな言葉は「一生懸命」です。何
事においてもまずこの言葉です。
夏祭りではまた焼き鳥のおっ
さん?に「いちゃん!」をしますの
で、是非7月31日もみじ作業所
夏祭りに来てください、そして
皆さんもパワーをもらってみて
は、いかがですか?

また微力ながら、もみじ福祉
会後援会の会長もさせて頂いた
いていますが、もつともつと色
んな事に『チャレンジ』して、
もみじのなかまにも顔を覚えて
もらえるよう頑張ります。



明日を開く全国大集会参加



金会館)
参加
会NO 1
生活プログラム開講式
理事会

後援会コーナー

2004年度、後援会費を納入頂いている、個人・団体の皆様
(4月1日～6月25日まで、敬称略)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 栗栖 昭典 | 坂下 寿子 | 岩井 里子 | 土井 田資 | 椋田 紀枝 | 長尾 夫佐子 | 榎本 清江 | 森友 幸子 | 田丸 剛 | 安田 静子 | 山岡 妙子 | 森安 満千代 | 近藤 弦之介 | 栗本 久美子 | 森脇 忠彰 | 谷口 真理子 | 池田 宏子 | 吉田 要 | 中垣 加代美 | |
| 峠 良子 | 林 幸樹 | 住田 幸恵 | 藤井 弥生 | 西川 頼子 | 岡富 倫子 | 鳥田 政雄 | 内藤 美亜子 | 水津 紅美子 | 垂井 理江 | 西岡 浩美 | 別所 宮子 | 藤原 公士 | 山田 寿美子 | 小鷹 正八 | 井上 マス子 | 市村 繁三 | 三宅 正朝 | 恵沢 南美子 | |
| 常弘 典男 | 井上 一郎 | 高木 里栄 | 溝本 松彦 | 鈴木 千賀子 | 秋信 迪子 | 瀧口 富美子 | 円奈 和子 | 園山 土筆 | 飛田 郁子 | 菊田 郁子 | 御堂 河内幸子 | 広木 美智子 | 坂上 ルミ子 | 河内 政子 | 細田 幸子 | 松浦 五朗 | 三崎 圭子 | 児島 由江 | |
| 高橋 美喜子 | 齋藤 献子 | 飛田 和義 | 高木 和義 | 勝田 郁恵 | 川村 夏子 | 田澤 葉子 | 木村 英雄 | 高美 修 | 湯谷 和香 | 五島 平夫 | 井上 佳代子 | 中沢 道成 | 田代 国次郎 | 串山 陽三 | 田村 和之 | 佐藤 節子 | 三村 ミドリ | 小島 隆 | |
| 鈴木 勉 | 小谷 恵美子 | 佐々木 久子 | 亀田 咲子 | 林 友三 | 川口 芳也 | 片山 文雄 | 三原 捷宏 | 花田 弘美 | 岡田 信子 | 東 文雄 | 中島 久子 | 栗田 朱美 | 後 すみ江 | 原 郁夫 | 面出 千鳥 | 成林 孝治 | 藤井 鷹 | 福田 治彦 | |
| 高畑 正直・優子 | 倉橋 裕文・津由子 | 荒睦 久美子 | 田辺 操子 | 西中 正士 | 松永 善治 | 正路 達男 | 香山 弘一郎 | 小笠原 恵美子 | 森脇 圭司 | 河内 正行 | 持越 克彦 | 坂井 勝則 | 大内 智 | 清水 慶秀 | 水田 孝行 | 上田 みどり | 中川 裕子 | 林 黎子 | |
| 丸福 建材工業株 | 株式会社新生サッシ | 丸福 建材工業株 |

夢トピアで
たのしくあそびたいです。
朝おこしてくれて
ありがとう。
跡野 省司 さん

私のへやでさをりをやってみたくておもっています。
パンをつくってみたいです。
こんどはとくらくんもはいたらいいのになあ。
まいにちがたのしいです。
ばんごはんがおいしい。あさごはんはパンを食べるのがたのしい。
じぶんのへやで本をよんだりしています。
テレビをみたりしています。あとのさんはみそしるがじょうず。
私はそうじができるようになりました。
ほうきとちりとりでじぶんのへやをそうじしてみたいです。
小西 まりさん



身障ホーム・グループホーム等の
合築施設「夢トピア」が開所して4カ月。
入所した仲間の声を
拾ってみました。

前から思っていたひとり暮らしが出来て嬉しいですね。
作業所から帰ったら自分の部屋に入って
ゆつくりしながらテレビを見たりしています。
楽しいのはみんなと一緒にご飯を食べているときです。
ずっとずっと夢トピアで暮らして行きたいです。
佐伯 勝さん

みんなとはなしをしたり、ごはんをたべたりすることがたのしい。
ひとりでもねられるようになった。バナナがほしい。
こんご、さえきまさるくんがコーヒをのましてあげたい。
さえきまさるくんがコーヒをのましてあげたい。
さえきまさるくんがコーヒをのましてあげたい。
さえきまさるくんがコーヒをのましてあげたい。
さえきまさるくんがコーヒをのましてあげたい。
許田 賢道さん

職員さん、ヘルパーさん、仲間、
みんな個性的で楽しくて、優しく僕の場合、
自宅にいたころとほとんど変わらないペースで
生活させてもらっています。
それどころか、毎日大好きなお風呂に入れてもらえるので
すごく快適です。
以前はあまり接点のなかった仲間とも一緒に過ごしたり、
ゲームをすることで、前よりも仲良くなったりもしました。
限られた時間の中でしなければならぬことをこなすのは
大変ですが、愉快なみんなと楽しくがんばります。
小坂 泰嗣さん

最初の頃は、部屋も殺風景でした。
でも、テレビやソファも来て、
過しやすくなりました。
つばさでの経験が、料理やそうじ等の
場面で生かされていると実感でき、
とても嬉しいです。
仲間も思わず『おいしい』と
言うような料理を作ってみたくて。
中田 喜直さん

ご寄付 ありがとうございます

(2004年4月～6月まで)

- | | |
|---------|--------------|
| マハタ信子 様 | 育成会安佐北区東支部 様 |
| 中村 松代 様 | ㈱キューエーシー 様 |
| 松尾 俊英 様 | 矢野 様 |

グループホーム・身障ホーム合築施設建設支援
夢トピアへのご寄付
ありがとうございます。
(2004年4月～6月25日まで 敬称略)

中川 恵子	御堂河内幸子
松田久美子	おひさまネット(カンパ箱)
国弘 弘	ともコンカンパ活動
鳥田 政雄	IWAD環境福祉専門学校

どうなる 支援費

介護保険と統合される?

なぜ統合?

さて、「支援費制度は2003年4月に開始されたばかり、なぜ1年もたたない内に統合問題なの?」という疑問、そして「介護保険に移行した場合の様々な不安の声が渦巻いています。統合問題の背景は主に財政源問題です。支援費でいうと、2003年度で100億円、厚労省ベースで50億円の不足です。ホームヘルプサービスを始めとする居宅支援費が大幅に予想を上回ったためとされています。サービス利用のびたことは喜ばしいことのはずですが、これでは財源がやっつけにくい。そこで「寄れば大樹の陰」というものです。(支援費は年額約3500億円、介護保険は約5兆円)

不安がいっぱい

介護保険への統合で、不安が叫ばれているのは、まず応能負担から応益負担になることです。所得の少ない障害者には利用が制限されます。二つ目はサービス支給量に上限が設けられ、地域生活が維持できなくなる。三つ目はサービス内容の制限、特に介護保険と違って支援費制度には移動介護など社会参加にむけたサービスが充実しており、それがなくなることです。その他、保険料の支払いやケアマネジメント、要介護認定制度など心配はつきません。

どう、LIFE PAPER?

様々な障害者団体それぞれが当面の見解や方向性を頭しつつあります。基本的に賛成の見解もあれば、時期尚早論や、基本問題の本格的討議をすべきとの見解などいろいろです。しかし多くが共通しているのは、現在の支援費サービスの質・量を後退させないことを条件としているようです。

障害者施策において歴史的な大転換といえるこの問題。財源問題を最優先し、その視点だけから議論することは、決して実りある結果は生まれないと思われまます。長期的な視点にたった、しっかりと障害者施策の議論を経てこの窮地を脱していく必要があると考えます。

